

[科目名] 地域経済学				[単位数] 4 単位		[科目区分] 専門科目 基幹科目	
[担当者] 権 克裕 KAMBA, Katsuhiko			[オフィス・アワー] 授業開始後にお知らせします。			[授業の方法] 講義	
[科目の概要] <p>21世紀に入り、経済はグローバル化しました。企業は国境を超えて活動し、様々な国で作られた商品が日本国内で流通する時代になりました。そのような中で、日本企業はアメリカやヨーロッパ諸国のような先進国の企業だけでなく、中国や韓国、インド等の新興国の企業とも激しい競争を繰り広げており、日本企業を取り巻く環境は一段と厳しくなっています。</p> <p>一方で、日本国内では、人口減少社会を迎え、その中でも人口と企業が集中する東京等の都市部と、人口の流出に歯止めがかからず地域経済が衰退しつつある青森県のような地方部の経済的な格差が深刻な社会問題となっています。様々な規制緩和により、大企業が提供する低価格な商品、サービスを全国どこでも享受できるようになった一方で、地方の老舗企業の倒産も目立っています。</p> <p>また、日本の各地域の経済を詳細にみると、モータリゼーションや立地規制の緩和等により伝統的な商店街の多くは疲弊し、空き店舗が目立っています。グローバル経済の影響を受け、中小製造業も円高の進展や下請け関係の解消等厳しい状況にあり、地方に誘致した大企業の工場も数年で移転、閉鎖することも珍しくない状況にあります。</p> <p>このように、地域経済は、日本国内の経済だけでなく、世界経済と密接に繋がっています。この科目では、世界経済、日本経済の最新の現状分析と人口移動、地価、都市規模、立地等に関する理論分析を組み合わせ、地域経済に対する理解を深めることを目的とします。</p>							
[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか] <p>みなさんが既に学んできたミクロ経済学、マクロ経済学等では、物事を単純化して考えてきたと思います。しかし、実際に各地域の経済を考える時には、地域の特性(気候、人口、地理的条件、インフラの整備状況…)を無視して考えることはできません。地域経済をより深く理解するため、地域経済学の授業では、地域の実情を考慮しながら、地域経済を分析する視点を提示していきます。</p> <p>学生の皆さんは、いずれ社会人として地域経済の担い手となります。その際、この授業内容が少しでも役立つようになればと願っています。</p>							
[科目の到達目標(最終目標・中間目標)] <p>中間目標:世界経済、日本経済、地域経済の現状について理解すること</p> <p>最終目標:経済学的視点を持って地域経済の様々な問題を分析できるようになること。</p>							
[ディプロマ・ポリシー(DP)との関係]							
学部				学科			
DP1 ○	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2 ○	DP3	
[学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫] <p>綺麗な板書を心掛けます。</p>							
[教科書] <p>なし。授業は配布するレジュメに沿って進行します。</p>							
[指定図書] <p>佐藤泰裕『都市・地域経済学への招待状 [新版]』有斐閣ステウディア 有斐閣 2023年</p>							

〔参考書〕

浅田義久・山鹿久木 『入門都市経済学』 ミネルヴァ書房 2023年

土地総合研究所編 山崎福寿・中川雅之著『経済学で考える 人口減少時代の住宅土地問題』 東洋経済新報社 2020年

金本良嗣・藤原 徹『都市経済学(第2版) <プログレッシブ経済学シリーズ>』東洋経済新報社 2016年

高橋孝明『都市経済学』 有斐閣ブックス 有斐閣 2012年

〔前提科目〕

ミクロ経済学・マクロ経済学

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)

中間試験と期末試験で評価します。詳細は第1回目の授業で発表します。

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

地域の経済活動に関心をもつために、新聞やニュースをチェックすることを推奨します。

〔実務経歴〕

旧通産省での実務経験を活かし、世界経済・日本経済の最新の現状分析とより理解を深めるための理論分析を組み合わせ、地域経済に対する理解を深める授業です。

授業スケジュール	
----------	--

第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): 地域経済学とは?</p> <p>内 容: 世界経済と日本経済と地域経済の関連性</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 地域経済の現状</p> <p>内 容: 本格的に地域経済学を学ぶ前に、地域経済の現状を俯瞰する。</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 経済のグローバル化と地域経済(1)</p> <p>内 容: 経済のグローバル化が日本経済に与える影響</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 経済のグローバル化と地域経済(2)</p> <p>内 容: グローバル化が地域経済に与える影響</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 経済政策と地域経済(1)</p> <p>内 容: 経済政策の種類と地域経済への影響</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 経済政策と地域経済(2)</p> <p>内 容: 過去の経済政策(経済対策)と地域経済</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 経済政策と地域経済への波及効果(1)</p> <p>内 容: セイの法則と有効需要の原理</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 経済政策と地域経済への波及効果(2)</p> <p>内 容: 需要モデルと供給モデル</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): 産業連関分析(1)</p> <p>内 容: 産業連関表の導出</p>

第 10 回	テーマ(何を学ぶか):産業連関分析(2) 内 容:産業連関表と経済波及効果
第 11 回	テーマ(何を学ぶか):日本の企業経営と地域経済(1) 内 容:日本の企業経営の現状
第 12 回	テーマ(何を学ぶか):日本の企業経営と地域経済(2) 内 容:地域の中小企業の現状
第 13 回	テーマ(何を学ぶか):日本の労働市場と地域経済(1) 内 容:労働市場の概説
第 14 回	テーマ(何を学ぶか):日本の労働市場と地域経済(2) 内 容:労働市場の地域間格差
第 15 回	テーマ(何を学ぶか):日本の財政と地域経済 内 容:財政制度の概要
第 16 回	テーマ(何を学ぶか):人口移動(1) 内 容:地域間人口移動の現状
第 17 回	テーマ(何を学ぶか):人口移動(2) 内 容:地域間人口移動の理論
第 18 回	テーマ(何を学ぶか):集積の経済 内 容:集積の経済モデル
第 19 回	テーマ(何を学ぶか):土地利用分析(1) 内 容:農地の土地利用分析
第 20 回	テーマ(何を学ぶか):土地利用分析(2) 内 容:都市の土地利用分析
第 21 回	テーマ(何を学ぶか):住宅市場(1) 内 容:日本の住宅市場
第 22 回	テーマ(何を学ぶか):住宅市場(2) 内 容:住宅価格・家賃・地価・地代のモデル分析
第 23 回	テーマ(何を学ぶか):都市システムモデルと最適都市規模(1) 内 容:システムとしての都市

第 24 回	<p>テーマ(何を学ぶか):都市システムモデルと最適都市規模(2)</p> <p>内 容:都市規模決定の理論モデル</p>
第 25 回	<p>テーマ(何を学ぶか):企業立地(1)</p> <p>内 容:工業立地の分析</p>
第 26 回	<p>テーマ(何を学ぶか):企業立地(2)</p> <p>内 容:商業立地の分析</p>
第 27 回	<p>テーマ(何を学ぶか):コロナ禍の地域経済への影響</p> <p>内 容:人口移動、リモートワーク、オフィス移転等の地域経済への影響</p>
第 28 回	<p>テーマ(何を学ぶか):地方財政の理論</p> <p>内 容:公共財の供給、課税ゲーム</p>
第 29 回	<p>テーマ(何を学ぶか):交通サービス(1)</p> <p>内 容:経路選択</p>
第 30 回	<p>テーマ(何を学ぶか):交通サービス(2)</p> <p>内 容:交通サービスと混雑の影響</p>
試 験	定期試験を実施する。